

風力選別機を導入

近隣業者と連携、多様な処理を

ミツワ企業



風力選別機

一般・産業廃棄物の選別機を導入した。収集運搬・処理事業を手掛けるミツワ企業(山形県上市市、伊藤泰志社長、023・673・1131)は、サーマルリサイクルを行っているサーマルセクターに、新たに風力

機を導入した。これまで人の手で行っていた前処理の工程を機械化することで、選別精度の向上に加え、業務効率向上、省人化に寄与しているという。また約4年前には破砕機の更新を実施した。今後適宜設備の更新やメンテナンスを行いながら、業務を進めていくとしている。

選別機を導入した。これまで人の手で行っていた前処理の工程を機械化することで、選別精度の向上に加え、業務効率向上、省人化に寄与しているという。また約4年前には破砕機の更新を実施した。今後適宜設備の更新やメンテナンスを行いながら、業務を進めていくとしている。

22年に山形県で発生した豪雨災害の災害廃棄物の一部を受け入れ、処理を行った。同社は産業廃棄物に加え、特別管理産業廃棄物処理の許可を取得していることから、幅広い廃

棄物処理に対応できる。近年、自然災害が増加していることを踏まえ、(一社)山形県産業資源循環協会は23年8月に山形市と、今年7月には上市市と災害廃棄物処理に関する連携協定を締結した。同社では、迅速に対応できるように協力体制を整えている。

同社の担当者は「われわれは汚泥や感染性廃棄物などの多様な廃棄物に加え、液物系の廃棄物処理に強みを持っている。処理可能品目や受入量によって、周辺の処理業者と連携しながら処理を進めている。顧客の要望に応えられるように、今後も事業を展開していきたい」と述べている。

令和6年 地震半島登能

中部ブロック内で災害廃棄物を受入へ

対象は輪島市・珠洲市の可燃ごみ

石川県から中部地方環境事務所に対し、災害廃棄物の広域処理要請があった。これを受け、中部ブロック各県に対し、県内のごみ焼却施設

生組合(西知多クリーンセンター)、尾張東部衛生組合(尾張東部衛生組合晴丘センター)、小牧岩倉衛生組合(小牧

姫路市は8月22日、スーパー等を運営の5事業者と

協定内容は、▽市内の店舗等で食品ロス削減に積極的に取り組む▽規格外品などの未利

協定内容は、▽市内の店舗等で食品ロス削減に積極的に取り組む▽規格外品などの未利

の出生数は、前年同期比5.7%(2万978人)減の35万74人だった。3年連続で40万人を下回り、国が統計を始めた1969年以降で

性もあるという。745人だった。速報には国内在住の外国人や海外にいたる日本人も含まれる。今後公表される確定数は、日本に住民の経営者らは、人口は減り続けてお

する情報提供を行うとともに、広域連携について検討することを目的に設置されている。

生活協同組合コープこうべ、スギホールディングス、兵庫西農業協同組合、フジの5事業者と協定締結した。

記者手帳

少子高齢化の加速で 企業経営に危機感

厚生労働省が先日発表した人口動態統計(速報値)によると、今年上半期(1~6月)の出生数は、前年同期比5.7%(2万978人)減の35万74人だった。3年連続で40万人を下回り、国が統計を始めた1969年以降で

最少を更新。少子化のため、速報よりさらに歯止めがかららない現状が浮き彫りになった。このペースで推移すると、年間の出生数が初めて70万人を割り込む可能性がある

の出生数は、前年同期比5.7%(2万978人)減の35万74人だった。3年連続で40万人を下回り、国が統計を始めた1969年以降で

かかっている「人が何よりも大事な資源だ。」

姫路市 食品ロス削減へ協定締結

スーパー等を運営の5事業者と

協定内容は、▽市内の店舗等で食品ロス削減に積極的に取り組む▽規格外品などの未利

協定内容は、▽市内の店舗等で食品ロス削減に積極的に取り組む▽規格外品などの未利